

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、11～19℃台を示し、やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—月夜間とシケで出漁日数は少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣-----スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり24kgの水揚げで、前週の51%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり75kgの水揚げで、前週の17%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり7kgの水揚げで、前週の28%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり8kgの水揚げで、前週の2%（前年を上回った）。
- 定置網----五島有川地区では、ソウダガツオなどが1日1統当たり382kgの水揚げ。五島魚目地区では、ソウダガツオなどが1日1統当たり237kgの水揚げ。北松生月地区では、サワラなどが1日1統当たり259kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マサバなどが1日1統当たり145kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり306kgの水揚げ。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/19～1/23日の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は大和堆周辺海区から太平洋赤イカ海区出漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～山形沖にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 入港なし。

（漁業情報サービスセンターより）